

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No	製剤番号	性別	年齢	一日用量	薬剤	症状	経過	説明	前例No
147	B-02001235	男性	9歳	75mg	カルボシステイン セフジニル マレイン酸クロルフェニラミン リン酸ジヒドロコデイン 塩酸メチルエフェドリン ロキソプロフェンナトリウム	痙攣	回復	インフルエンザB型と診断、リン酸オセルタミビル75mg/日を処方。本剤75mgを服用。翌朝、75mgを服用し解熱。同日夜、10分程度持続する全身の痙攣が発生し、自然軽快。後遺症なし。自己判断で本剤服用中止。2日後、受診時、咽頭痛のみでその他は無症状。	異常以外-133
148	B-03007837	男性	9歳	112.5mg	なし	意識変容状態	回復	インフルエンザと確定診断後、リン酸オセルタミビル112.5mg/日を投与開始。投与1回目直後に嘔吐、10分後再服用時の30分後に意識不明の言動を認める。有害事象発現30分後に処置なしで回復、入院して継続投与するも、その後は有害事象を発現せず。	異常以外-134
149	B-03009909	男性	9歳			痙攣	回復	リン酸オセルタミビルを投与後、痙攣が発現。その後回復した。	異常以外-135
150	B-04024623	男性	9歳	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、夕方、リン酸オセルタミビル(量は不明)を服用。翌朝、2回目を服用し、解熱したが、食欲・活気不良。同日夕方、異常な発言あり、倒れ込み受診、軽度意識障害が疑われた。同日夜、救急外来を受診、平熱で歩いて入室し、見当識は保たれていたが、意識清明とは言えずごく軽度の意識障害が疑われた。本剤は2回の服用で終了。事象発現から9日目に徐波消失、退院。退院から18日後、夜間に突然、強い不安と軽度の意識変容が見られ、入院。経過は前回と全く同様で、10日目に退院。	異常以外-136
151	B-04025081	女性	9歳	不明	なし	幻覚 嘔吐	不明	インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを服用後、まもなく幻覚あり、嘔吐し、泣いた。	異常以外-137
152	B-05022091	男性	9歳	84mg	セフジニル 酢酸維持液 ソリタール	異常行動	回復	発熱(38.6℃)にてインフルエンザ陰性であったが、本剤処方。投与後、嘔吐あり。2回目服用後、異常な発言を行い、救急車にて来院、入院となる。入院時、意識正常、異常言動なし。本剤は、中止とした。	異常以外-138
153	B-06002230	男性	9歳	不明	プロピオン酸フルチカゾン	痙攣	回復	A型インフルエンザで発熱(39.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から約1時間後に痙攣が発症し、約5分後に回復した。その後、リン酸オセルタミビルの服用は中止した。痙攣の既往歴あり。	異常以外-139
154	B-06026846	男性	9歳	60mg	臭化水素酸デキストロトルファン アセトアミノフェン	異常行動 痙攣	回復 軽快	インフルエンザA確定。服用30分後に奇声を発するも押さえつけ入眠。けいれん発現。入院目的に搬送時、意識クリアになる。	異常以外-140
155	B-06026849	女性	9歳	60mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザの診断なし。リン酸オセルタミビル60mg1回服用。40分就寝した後、布団を蹴飛ばし「怖い」と叫び、視点が定まらず、母がつかまえていた。インフルエンザ迅速検査陰性、咽頭粘液、血液でのインフルエンザウイルス同定(PCR)陰性。	異常以外-141
156	B-07000124	男性	9歳	不明		異常行動	回復	昨シーズン、リン酸オセルタミビル服用時に異常行動(不思議な言動)が発現。今シーズン、インフルエンザ感染症に対し、本剤処方。熱39.5℃~40.3℃。服用2時間後、異常行動発現。腹痛、吐き気。翌日、異常行動回復。インフルエンザ軽快。	異常以外-142
157	B-07001281	不明	9歳	112.5mg		悪夢 睡眠驚悸	軽快 軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用による幻覚がトラウマになり、悪夢、夜驚症が発現。インフルエンザ発症から約2ヵ月後、副作用の訴えからジアゼパム処方。悪夢、夜驚症軽快。	異常以外-143

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

年齢	性別	年齢	投与量	投与剤	症状	経過	説明	副作用No.	備考	
158	B-07003013	女性	9歳	不明	セフトロキムプロキセチル アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うわごとを言う、深い寝ていた家族をける等の行動が発現。 投与開始2日目、本剤服用中止。	異常以外-144	
159	B-07022879	男性	9歳	67.5mg	セラベプターゼ カルボシステイン アセトアミノフェン	錯乱状態	軽快	インフルエンザAと確定診断。リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤1回服用。服用6時間後、笑ったり、叫んだり、動き回ろうとし、反応が乏しいため救急要請。CT、採血、異常なし。本剤服用継続の指示あり。服用2日目、朝、本剤2回服用3時間後、上記と同様の症状が出現。	異常以外-145	
160	B-07024539	女性	9歳	54 mg		落ち着きのなさ	回復	A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。夕方、1回服用。服用2日目朝、本剤服用4時間後、突然暴れ出した。約5分後に正気に戻り、その後薬30分位号泣が続いた。	異常以外-146	
161	B-07026290	男性	9歳	52 mg	クラリスロマイシン クラリスロマイシン リン酸ジメメルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断。朝、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用1時間後、奇声を上げるなど異常行が入院。 服用終了6日目、異常言動回復。	異常以外-147	2008/4/1以降 追加報告
162	B-07027258	男性	9歳	48 mg	ヒベンズ酸チペビジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン セフトラムピボキシル	譫妄	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビル処方。昼、本剤服用約2時間30分後、眠っていて足をバタバタさせて暴れる様な状態であった。目は閉じていて呼んでも目を覚まさなかった。この様な状態が5時間くらい続いた。その後落ち着いて夜は普通に睡眠した。せん妄(非重篤)発現。服用から2日目、午後受診した時は、異常は認められなかった。	異常以外-148	
163	B-07027838	男性	9歳	114 mg		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル処方。服薬3日目、興奮状態出現。なかなか眠らず。服薬4日目、朝方、起きて興奮して暴れたが、同日せん妄状態 回復。	異常以外-149	
164	B-08001746	女性	9歳	投与量 不明		意識消失	回復	前日にインフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを服用していた。 意識消失し便失禁しているところを家人が発見し、当院救急搬送された。 来院時には意識清明であったが、色が分からず全てが白黒にみえたと訴えた。覚醒時脳派にて両側後頭葉の基礎波に徐波派を認めた。頭部CT・眼科的には異常所見なく、翌日には色覚は正常となり、脳波も基礎律動正常化した。		2008/4/1以降 新規報告
165	B-06003837		10歳代	不明		昏睡	不明	詳細不明(担当医の協力が得られなかった。)	異常以外-150	
166	B-04001019	男性	10歳	75mg		痙攣 意識変容状態	回復	39℃の発熱で、インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mgを服用後1時間半で意識障害、30分のけいれんが出現。入院し点滴を受け5時間半後には意識清明となる。事象発現から2日後には意識障害、痙攣は回復し、後遺症なく退院した。	異常以外-151	
167	B-04027255	男性	10歳	150mg	ヒベンズ酸チペビジン	幻覚 幻聴	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル150mg/日及びヒベンズ酸チペビジンを投与開始。2回目の服用の2時間後、1回の幻聴出現。服用4時間後、4回の幻覚出現。幻覚出現の5時間後、両有害事象回復。	異常以外-152	
168	B-05026626	男性	10歳	120mg	鎮咳去たん配合剤(1)	痙攣	回復	A型インフルエンザで発熱(39℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の夜に痙攣が生じ、回復した。投与開始から5日目にインフルエンザが軽快、回復した。	異常以外-153	
169	B-06023790	男性	10歳	36mg	カルボシステイン ザナミビル水和物	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル内服後、30分後に異常発言あり。その30分後、異常発言回復。	異常以外-154	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	用量	併用薬	症状	経過	経過	備考
170	B-06024213	男性	10歳	150 mg	カルボシステイン 塩化リゾチーム 塩酸プロムヘキシン	異常行動 意識レベルの 低下	回復 回復	リン酸オセルタミビル2回目服用後、約2時間後に異常行動、意識混濁が発現。熱が高 そうな状態で、寝起きに意味不明なことを言う。その5分後には回復している。さらに1時 間後に息苦しさを訴え、外来受診するが異常なし。	異常以外-155
171	B-06024320	男性	10歳	69mg	アセトアミノフェン 塩化デカリニウム	幻視	回復	4~5年前にリン酸オセルタミビルの服用歴があり、問題はなかった。39.3℃、咽頭痛、頭 痛、傾眠から臨床的にインフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル1回目服用後、2時 間後に異常な発言があり、母親の問いかけに「夢か現実かわからない」という。翌日早 朝、38.0℃。幻覚様症状継続。昼前には幻覚様症状なし。	異常以外-156
172	B-06024664	女性	10歳	不明		幻覚	軽快	リン酸オセルタミビルを服用し寝ていると、急に起きて「黒いものが見えて怖い」と言い、 嘔吐し寝ていた。以降服用は中止し、翌日軽快。	異常以外-157
173	B-06025003	女性	10歳	60mg		幻覚 妄想	軽快 軽快	本剤投与開始後、悪夢(大きなクモがいる)出現。 その後に悪夢軽快。	異常以外-158
174	B-06025580	男性	10歳	100mg	アセトアミノフェン ソルデム1(点滴) ブドウ糖(点滴)	異常行動	回復	発熱(39.2℃)、倦怠感、嘔気にて、本剤投与。 その夜異常行動(弟が誰かに首を絞められていると必死に訴える行動、うつぶせになっ て手足をバタつかせる)あり、同日回復。 5日後、インフルエンザ軽快	異常以外-159
175	B-06026131	男性	10歳	75 mg		異常行動	回復	前夜、40℃の高熱発現。インフルエンザB型の診断でリン酸オセルタミビル処方。朝、1回 目服用。夜、本剤を飲ませようとしたところ、少しぼおとしていて意味不明な言葉を叫ぶ 等、異常言動が5分くらいあり。救急車到着。表情うつろ。痙攣なし。意識レベル1。救急 外来到着時、胸部X-P、頭部CT異常なし。インフルエンザ脳症の可能性も否定しきれず 入院。翌朝、平熱。異常行動なし。	異常以外-160
176	B-07000074	女性	10歳	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動発現。しゃべりまっ くっていた。	異常以外-161
177	B-07000107	女性	10歳	130 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン イブプロフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 異常行動、言動(家電をなぐった)発現。 服用3日後、異常行動、言動回復。	異常以外-162
178	B-07001663	男性	10歳	120 mg	カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル5日分投与開始。服用1日目、異常な 行動はなかったものの、「お父さんがお母さんを殺そうとしている」など、非現実的な事を 話していた。せん妄発現。 翌日、せん妄回復。 服用5日目に服用終了。	異常以外-163
179	B-07003787	男性	10歳	150mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸アンプロキシール ドーマレイン酸クロルフェニラミン ドンペリドン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤服用約2時間後、2回嘔吐 あり。 投与開始2日目、朝、39.5℃。本剤服用。服用約4時間後から食欲低下あり。恐れる、泣く といった異常行動発現。普段はめそめそする性格ではないが、些細なことでめそめそして 泣く。 投与開始4日目、再受診。35.6℃。副作用と思われる精神症状が認められたため、夕方 の分より本剤投与中止。異常行動回復。	異常以外-164

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
(販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

症例番号	性別	年齢	投与量	薬剤	症状	経過	経過の概要	前回の症例番号	備考	
180	B-02002181	男性	11歳	150→75mg	ブラゾプロフェン テブレン ドンペリドン	譫妄 幻覚	軽快	臨床症状よりインフルエンザと診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与1日目夕刻、異常な発現を観察。翌朝まで何回かのうわ言が観察される。その後投与量を75mg/日に変更して本剤投与を継続するが、有害事象の発現はなし。	異常以外-165	
181	B-06000460	男性	11歳	140mg	アセトアミノフェン カルボシステイン 鎮咳配合剤(1)	幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始日の夜に幻覚が発現し、病院で血液検査と頭部CTで異常が見られなかった。幻覚は回復した。	異常以外-166	
182	B-06025414	女性	11歳	不明		聴覚過敏 錯覚 譫妄 計算力障害	軽快 未回復 軽快 軽快	本剤投与開始後、音に異常反応を示す、異常知覚、せん妄、計算障害発現。翌日、投与中止。現在、症状未回復。	異常以外-167	
183	B-07000100	男性	11歳	150 mg		幻覚 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル服用開始。幻覚、行動の異常発現し、同日回復。	異常以外-168	
184	B-07000200	女性	11歳	150 mg		意識消失 痙攣	回復 回復	インフルエンザBの診断のため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、急に目が見えないと言ひ意識を失い、その後眼球が上転し四肢がつっぱる様な痙攣を起こしたが、数分で回復。37.6℃。翌日、インフルエンザ軽快。	異常以外-169	
185	B-07000241	男性	11歳	135 mg	塩酸シプロヘプタジン 塩酸クロフェナール 塩酸アンブロキシール ロキソプロフェンナトリウム	恐怖	回復	インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。夜、2回目投与後、「怖い、怖い」とうわ言を言った。異常行動・うわ言発現。4日後、異常行動・うわ言回復。	異常以外-170	
186	B-07001737	男性	11歳	不明	セフテラムピボキシル 臭化水素酸デキストロメトルファン イブプロフェン	激越 激越	回復 回復	朝、38.5℃。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。昼より、本剤服用開始。本剤2回目服用2～3時間後(深夜)、興奮状態発現。眠っていたが、急に起き上がり「宿題がわからん」などと叫び、寝言かと思っていたが、自分の頭をドンドンたたき始めた。髪をかきむしった(抜く程ではない)。1時間程の間に3回ほど。興奮状態は1時間で回復。服用2日目、夜、服用後3～4時間後(深夜)、興奮状態発現。前日とほぼ同様の症状であった。一度は立ち上がろうとした。興奮状態は約1時間で回復。	異常以外-171	
187	B-07015653	不明	4歳～11歳	投与量不明		脳症	不明	臨床症状あるいは迅速抗原検査で、インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル服用。その後、インフルエンザ脳症、異常言動・異常行動発現。	異常以外-401	2008/4/1以降追加報告
188	B-02001392	女性	12歳	67.5mg	リン酸ジヒドロコデイン配合剤 ヒベンズ酸チベピジン	失神	回復	インフルエンザが疑われリン酸オセルタミビル0.9カプセル(67.5mg)を服用。服用2時間後、冷蔵庫の物を取ろうとしたときに、一瞬意識がなくなり倒れた。その時の記憶ははっきりしない。45分後に輸液を投与し、数時間後に一般状態まで回復。	異常以外-173	
189	B-02002041	女性	12歳	150mg	カルボシステイン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン	譫妄	回復	腹痛あり、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤を朝服用開始し、当日夜寝る前興奮し、変な夢を見ているようだった。本剤投与中止。翌朝、意識が清明に戻る。	異常以外-174	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	別添付	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用 No.
190	B-02003019	男性	12歳	150mg	アスピリン-VG配合剤 サリチルアミド/アセトアミノフェン/ 無水カフェイン/プロメタジンメチレ ンジサリチレート 臭化水素酸デキストロメトルフアン	意識消失	回復	インフルエンザのためリン酸オセルタミビル服用開始。19時頃2回目服用後臥床。23時頃自力で立位を保てず意識を失った。そのとき失禁。すぐに下の布団に戻し、約5分後に症状回復。翌日インフルエンザ回復。	異常以外-175
191	B-03001391	男性	12歳	37.5mg	アセトアミノフェン フマル酸クレマスチン 塩酸ツロプテロール カルボシステイン	意識レベルの低下	回復	1998年6月から成長ホルモン分泌が低下しはじめ現在も成長ホルモンを投与している。インフルエンザ治療のため夕方よりリン酸オセルタミビル服用開始(39℃)。服用2日目の18時頃解熱していたがつかれて横になっていた。嘔気出現し嘔吐後そのまま意識が悪くなった。意識低下は3分ほど持続。18時40分頃来院。顔色不良だが意識は清明。翌日点滴にて解熱傾向、嘔吐もなし。	異常以外-176
192	B-03010918	女性	12歳	132mg	臭化水素酸デキストロメトルフアン 塩酸チアラミド	視野欠損	回復	リン酸オセルタミビル132mg/日他を処方。3日間服用し、4日目の起床時、右目の下半分が見えなくなったため、投薬中止。2~3時間後、回復。	異常以外-177
193	B-04008523	男性	12歳	30mg	アジスロマイシ水和物 アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル60mg/日他を処方。帰宅後、本剤30mgを服用。1時間後、軽度意識混濁発現、かん高いうなり声、約40分間の多弁、目が丸くなった、多動、41.7℃の高熱が認められた。事象発現から1時間後には落ち着き、さらに1時間後に再度受診したが、意識清明、発熱38℃。翌日朝、調子が良くなり、36.8℃に解熱。	異常以外-178
194	B-05024490	男性	12歳	150mg	クラリスロマイシン	幻覚 激越	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.0℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用開始。投与開始から3日目に幻覚及び興奮が出現した。リン酸オセルタミビルの服用を中止し、投与開始から5日目にインフルエンザが軽快し、幻覚及び興奮は発現から4日目に回復した。	異常以外-179
195	B-05026111	男性	12歳	75mg	アセトアミノフェン	幻覚	回復	A型インフルエンザ治療のため昼食後にリン酸オセルタミビルとアセトアミノフェン服用(38.9℃)。20分後に嘔吐し幻覚発現。服用2時間後受診時、発熱(40℃)、全身倦怠感著明だが、意識清明で応答も普通であった。翌日解熱傾向(37℃台)となり意識障害、幻覚なし。	異常以外-180
196	B-05026114	男性	12歳	130mg	ラクトミン	妄想	軽快	A型インフルエンザで発熱(39.0℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目にインフルエンザが軽快(体温37.0℃)したものの、リン酸オセルタミビルの服用を5日間続けた。服用開始から3日目に妄想が発現し、約9日後に軽快した。	異常以外-181
197	B-05026980	女性	12歳	150mg		痙攣 意識変容状態	軽快	A型インフルエンザで発熱(37.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始する。投与開始から2日目に解熱したが、リン酸オセルタミビルは4日間服用した。投与開始から5日目に意識レベルの低下と痙攣が発現し、5分程度持続した。その翌日、意識レベルの低下と痙攣が軽快した。 なお、頭蓋骨骨折と頭部外傷の既往があり、脳波異常は未回復のままであった。	異常以外-182
198	B-07000202	男性	12歳	不明	バルプロ酸ナトリウム ゾニサミド	痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、痙攣発現(2分間)。CT検査異常なし。服用開始2日後、回復。	異常以外-183
199	B-07000227	女性	12歳	75 mg		意識消失	回復	発熱38.5℃、全身倦怠感あり、咳嗽軽度、咽頭痛軽度。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを処方。昼頃、自宅で本剤を服用。就寝。本剤服用約5時間後、腹痛を訴えるため、トイレに行きなさいと言ったところ、トイレと違う方向に行って倒れた。意識はもうろうとしてトイレに連れて行こうとしたが、再びトイレの前で倒れた。意識もうろう状態(非重篤)発現。強い呼びかけには応じる。点滴を受けた。その後は特変なく経過。意識もうろう状態回復。	異常以外-184

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

症例番号	性別	年齢	投与量	薬剤	症状	経過	治療	経過	備考
200	B-07000267	男性	12歳	138mg		譫妄	回復	体温37.8℃で来院。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用開始2日目、夜から未明にかけて、うわごとが続く。服用開始3日目に中止。服用中止翌日、うわごと軽快。	異常以外-185
201	B-07000289	女性	12歳	150mg	メキタジン ロキソプロフェナトリウム	意識消失 てんかん 意識消失 てんかん	回復 回復 回復 回復	診察時38.4℃。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル5日分処方。服用終了後、解熱。 服用終了2日目、意識喪失し、痙攣発現。その日のうちに受診。意識喪失、痙攣回復。 服用終了3日目、再度、食事中意識喪失で2、3分倒れる。意識喪失回復。神経内科に検査のため入院(1週間)。検査では異常は認められなかった。	異常以外-186
202	B-07002073	女性	12歳	150mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメトルファン カルボシステイン 開始液(1)	大発作痙攣	不明	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始4日後、朝、本剤減量。外来受診時(38-39℃出現、咳も強い)胸部x-p撮影中にGTC(全身性強直間代けいれん発作)5秒。その後、1分後に意識もどした。胸部x-p上気管支影の増強はみられたが、明らかな肺炎像はなかった。	異常以外-187
203	B-02000098	男性	13歳	150mg	メクロブラミド ラフチジン ロキソプロフェナトリウム	ジスキネジー	回復	インフルエンザの治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。投与開始3日目に解熱し本剤服用終了。投与終了1日後の18時頃、突然頭を後ろに引っ張られるような感覚があり、首を左へ回旋。眼球右共同偏視、嘔り難い、目が閉じ難い等の顔面・上肢等の不随意運動発現。意識清明。22時頃急患受診、ジアゼパムにて鎮静、入院。投与終了2日後歩行など正常となり、不随意運動回復。	異常以外-188
204	B-02003705	女性	13歳	不明		味覚異常	不明	インフルエンザにリン酸オセルタミビル投与。味覚異常発現。 転帰不明。	異常以外-189
205	B-03008971	男性	13歳	150mg	ヒベンズ酸チベピジン	失神	軽快	臨床症状及び経過よりインフルエンザと診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与1回目後、腹痛発現、その3時間後に眼前暗黒感出現し転倒、下痢便失禁。転倒後約90分後に救急搬送、意識ほぼ清明も血圧低下及び心部と肋骨上部の軽度圧痛あり。乳酸加リンゲル及び酸液投与により、血圧及び脈拍回復、全身倦怠感軽快。	異常以外-190
206	B-03012367	女性	13歳			意識変容状態	回復	リン酸オセルタミビル(量、期間不明)を服用後、意識障害が発現し、2日目に入院。入院3日目に意識障害は回復。	異常以外-191
207	B-04008398	男性	13歳	150mg	ロキソプロフェナトリウム 塩酸ツロプテロール メキタジン	幻覚 痙攣 意識消失	回復	診断キットでは(-)だったが、症状改善のためリン酸オセルタミビル150mg/日他を処方され、同日夕方、2回目服用後、突然、意識消失、痙攣発作出現。本剤も嘔吐。意識回復後も幻覚症状あり、治療。事象発現から7日目に回復。	異常以外-192
208	B-05024834	女性	13歳	75mg		痙攣	回復	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを服用。服用から約3時間後に数秒の痙攣が発現し、自然に収まり、回復した。	異常以外-193
209	B-06024412	男性	13歳	75mg		痙攣 異常行動	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用後、約1時間後にうなり始め目はうつろ。突然目を見開いて泡を吹き意識なし。1~2分後に反応して舌を出す。経過観察のため入院、3日後回復。	異常以外-194
210	B-06026128	男性	13歳	75mg		幻覚 妄想 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA治療の為、本剤の投与開始。幻覚、妄想、異常行動発現。	異常以外-195

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	病期番号	性別	年齢	用量	併用薬	副作用	対応	経過	備考
211	B-06026822	女性	13歳	75 mg	ヒベンス酸チベピジン カルボシステイン 塩酸プロメタジン トラネキサム酸	意識消失	回復	リン酸オセルタミビル服用10時間後、体に力が入らず脱力状態。母が階段の上から両腕をかかえ、家族が階段の下から両足を持って運んでいた。閉眼していたが、昇る途中、呼名に反応しない意識消失状態が1分間あり、家族は1分ほど両足の硬直を感じた。その後硬直は消失し、呼名に開眼する状態となり救急車で当院来院した。本人は階段昇っている途中より、家に救急隊が到着するまでの間は覚えていない。	異常以外-196
212	B-07000211	男性	13歳	150 mg		うつ病 無感情 自殺企図	未回復 未回復 回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、抑うつ、無気力、自殺企図発現。 服用開始4日後、服用中止。	異常以外-197
213	B-07000256	女性	13歳	150 mg		意識変容状態	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、解熱したため、本剤服用を自己中断。服用開始から4日目、夕方、帰宅。ぼんやりして視線あわず、意識レベルの低下発現。服用開始5日目、学校では、一日ぼんやりしたり奇声をあげていた。帰宅時間になっても、自宅がわからないため友人につれられて帰宅する。視線が合わず友人、家族の名前、自分の名前が言えない。体温:36.8℃。救急外来受診後入院。失見当識、健忘あるが麻痺はなく、神経学的所見なし。服用開始6日目、脳波異常なし。視線あうが、レスポンスない、記憶あいまい。服用開始8日目、活発でふたんどおり、退院となる。	異常以外-198
214	B-07002666	男性	13歳	150 mg	ロキソプロフェンナトリウム 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	攻撃性	回復	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用開始3日目、掃除機を振り廻し、食器類を破壊するといった異常行動 暴力行為が発現。直ちに本剤を中止。 中止翌日、解熱し、落ち着きない状態。インフルエンザは軽快。	異常以外-199
215	B-02000597	男性	14歳	150mg	クラリスロマイシン リン酸ジメメルファン カルボシステイン アセトアミノフェン	離人症 無表情 無関心	回復	リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。投与4日目に無気力、無表情、離人感発現し、本剤投与中止。事象発現後、6日目に回復。	異常以外-200
216	B-02001391	女性	14歳	75mg	リン酸ベンプロペリン アセトアミノフェン	失神	回復	インフルエンザが疑われリン酸オセルタミビル1カプセル(75mg)を服用。投与後1時間後、トイレに行き倒れる。症状としては、ボーッととなり、強直が認められるもすぐに戻る。その間の記憶なし。服用2時間半後、意識清明。	異常以外-201
217	B-03009369	男性	14歳	150mg	カルボシステイン 塩酸プロムヘキシシ 塩酸プロカタロール セフジトレンピボキシル	統合失調症	軽快	臨床診断からインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル150mg/日他を処方。夜から内服開始。4日目まで服用し、インフルエンザ様症状は改善。服用終了後5日目頃から、身体がおかしいとの訴えがあり、経過観察のため入院。妄想様言動、全身を随意的に前後に揺さぶるような震え等が認められた。入院3日目に妄想様言動等が認められず退院となったが、翌日精神科に受診したところ統合失調症が考えられ、外来で経過観察となった。2週間後、症状はほとんど消失。	異常以外-202
218	B-03009543	男性	14歳	150mg	アセトアミノフェン	意識変容状態 意識変容状態	回復	自宅にあったリン酸オセルタミビル150mg/日及びアセトアミノフェンを服用。同日夜、多汗、顔面蒼白になり後方に転倒、意識不明となる。病院では意識清明でインフルエンザA型と診断され帰宅するが、脱力転倒、関連性のない発語を繰り返し、呼びかけへの応答はない。翌朝は、意識清明で、本人は転倒した記憶もあり。入院し頭部CT、腰椎穿刺を行うが異常所見なし。以降、意識障害なし。	異常以外-203
219	B-05026848	男性	14歳	150mg	塩化リゾチーム 塩化デカリニウム	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	インフルエンザ確定診断で陰性だったが、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から2日目に意識レベルの低下と痙攣が発現し、後ほど回復した。リン酸オセルタミビル服用開始から4日目に服用を中止した。	異常以外-204

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

症例No.	処方No.	性別	年齢	用量	薬剤名	症状	経過	経過の概要	前例No.	備考
220	B-06000039	男性	14歳	75mg	セブテラムピボキシル	痙攣	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始日の夜に全身の痙攣が見られ、翌日の朝に回復した。リン酸オセルタミビルの投与は1回で中止した。	異常以外-205	
221	B-06022862	男性	14歳	150mg	なし	意識変容状態	回復	迅速キットにて陰性であったが、臨床症状に鑑み、予防目的でリン酸オセルタミビル75mgx2回/日投与開始。翌日、意識障害(意識レベルの低下)発現。6日後、意識障害回復、退院。	異常以外-206	
222	B-06025005	女性	14歳	150mg		悪夢 幻覚	軽快 軽快	高熱(39℃)、インフルエンザB型治療の為、本剤投与開始。本剤投与後、幻覚(小さな光がたくさん見える)、幻想(光に吸い込まれそうになる)、悪夢(爆弾が仕掛けられ爆発しそうな体験)出現。投与中止後、悪夢、幻覚、幻想軽快	異常以外-207	
223	B-07000088	女性	14歳	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン 硫酸サルブタモール	異常行動	軽快	インフルエンザウイルス感染症治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れて意識不明の状態になった。30分後、救急車で運ばれて来たが、その際は意識は回復していた。異常行動軽快。	異常以外-208	
224	B-07000242	女性	14歳	投与量 不明		脳梗塞	不明	リン酸オセルタミビルの投与開始。脳梗塞発症。	異常以外-209	2008/4/1以降 追加報告
225	B-07000257	男性	14歳	75mg	アセトアミノフェン	幻聴 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れだす。幻聴、幻覚、異常行動発現。他院入院。翌々日、回復。	異常以外-210	
226	B-07015777	男性	14歳	投与量 不明	アセトアミノフェン	脳炎	不明	服用2日目、関節痛と手の震えがみられ、さらに上半身のびくつく発作が30分間出現したため、受診。受診時異常なく、経過観察。睡眠中に母親が起こすも覚醒せず。硬直していたが様子を見て、1時間後に無理やり起こして、水分を摂取させるも飲まず、視線も合わず、呼びかけに反応しないため再診。意識はなく四肢の不穏な動きがみられジアゼパム投与。この日の夜まで本剤服用し、以降は中止。 服用中止から1日目、一般採血、検尿に異常はなし。髄液細胞数の増加があるが、頭部CTで異常なし。ステロイドパルス療法等を施行。午前まで不穏状態がみられ、午後には簡単な受け答えが可能となるもボツとすることが多く、記憶力低下も認められた。 服用中止から4日目、完全に回復した。家族4人全員が発熱していたが、インフルエンザ迅速診断を2回施行するも陰性で血清抗体価の上昇もみられなかった。 覚醒時、脳波で高振幅徐脈がみられ、脳血流シンチでは全体の血流低下、MRIは前頭部皮質を中心に拡散強調画像で高信号を認めた。 現在、神経学的に異常を認めないが、脳波では前頭部にてんかん性異常を認めている。	異常以外-211	2008/4/1以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経系症状事例の概要(年齢順)
 (販売開始(平成13年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過	備考	備考	
227	B-08006354	男性	14歳	150 mg			痙攣	回復	迅速検査にて、インフルエンザA型と診断された。体温39.0℃、他のインフルエンザ症状もあり。 リン酸オセルタミビル服用約1時間後、嘔吐あり。 リン酸オセルタミビル2回目服用約1時間後、頭痛発現。興奮するように「呼吸ができない」「わうわう」など意味不明のことを叫んだ。 意識消失発現。救急車が到着する頃には、患者は再び呼吸できるようになった。しかしとても弱かった。父は、また呼吸が停止するのではとても心配した。救急車の中では体温37.5℃だったが、病院到着後、体温は38.8℃まで上がった。アセトアミノフェン服用にて、一度は解熱。 服用7時間後、患者は再度興奮し、叫んだ。明らかに呼吸困難状態だった。 本剤服用終了から2日目、発熱なし。脳波検査の結果、脳炎/脳症などの異常なし。精神神経系疾患・呼吸器症状の再発なし。退院。発作、激越、チアノーゼ、意識消失 回復。 経過中、アルコールは一度も検出されなかった。		2008/4/1以降 新規報告
228	B-02002384	男性	15歳	150mg	リン酸ジメメルファン 塩酸アンブロキシソール 硫酸サルブタモール D-マレイン酸クロルフェニラミン アセトアミノフェン		認知不能症	回復	詳細不明	異常以外-212	
229	B-02003545	女性	15歳	75mg	リン酸ジヒドロコドイン アセトアミノフェン		浮動性めまい	回復	詳細不明	異常以外-213	
230	B-03000392	男性	15歳	150mg	セフジニル アセトアミノフェン ピペラシリンナトリウム スルピリン 塩酸ミノサイクリン		傾眠	回復	発熱のため受診。臨床的にインフルエンザと診断しリン酸オセルタミビルを5日間服用。 服用一日後朝、嘔吐、発熱、歩行困難(フラフラ)、傾眠がら症状あり。投与中止後23日間、副作用継続。	異常以外-214	
231	B-04007755	女性	15歳	150mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チペピジン		てんかん	軽快	リン酸オセルタミビル150mg/日他を投与。投与開始3日で痙攣を発症、てんかんと診断。 同日で服用終了。3ヶ月後、抗てんかん薬服用中。てんかんの症状はおさまっている。	異常以外-215	
232	B-05025715	女性	15歳	225mg	アセトアミノフェン 臭化水素酸デキストロメトラン		意識変容状態	軽快	本剤を誤って75mg×3回/日で3日間服用後4日目1回服用し服用終了。服用開始2日目に解熱。服用開始3日目に意識障害(喋り方が緩慢になる)発現。服用終了1日後に軽度意識障害等あり入院。服用終了5日後意識障害軽快。	異常以外-216	
233	B-06020356	女性	15歳	150mg	イブプロフェン ファロベネムナトリウム		意識変容状態	軽快	インフルエンザテストでは陰性。発熱があり、リン酸オセルタミビル、イブプロフェン、ファロベネムナトリウムを投与開始。3日後、意識混濁、尿失禁などにより入院。意識障害、不穏状態、脳波にて高振幅の徐波が全般的に認められたことから脳炎脳症と診断。12時間後ぐらゐから意識回復。翌日元気になるが、脳波異常は残っている。	異常以外-217	
234	B-07000214	男性	15歳	75 mg	セフボドキシムプロキセチル 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン		異常行動	回復	38.9℃と発熱。インフルエンザB型と診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、異常言動発言。寝ていたのが起き出し、意味不明の発言あり、何かをさがす様な動きをくり返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後著変なし、本人全く記憶なし。	異常以外-218	